

「イーストスプリング・インドネシア債券オープン（年2回決算型）」を設定

PRESS RELEASE

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO 関崎 司）は本日付で「イーストスプリング・インドネシア債券オープン（年2回決算型）」（以下、「当ファンド」）を設定いたしました。

当ファンドは、投資信託証券を通じて主としてインドネシアの債券に投資を行うことにより、インカム・ゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。運用にあたるのは、当社のグループ会社であるイーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッドです。

インドネシアは、約 2.6 億人と世界第 4 位¹の人口を有する東南アジア諸国連合（ASEAN）最大の経済大国です²。若年層に厚みのある人口構成からなる豊富な労働力と、消費拡大の可能性を秘めています。2014 年 10 月に就任したジョコ大統領の強いリーダーシップの元、政治・経済をはじめとする様々な面での改革が計画的に進められた結果、財政赤字および経常収支の改善、インフレの低位安定、外貨準備の増加などの成果が見られ、2018 年以降の実質 GDP 成長率も 5.3–5.5%程度³の比較的高い水準で推移されると予測されています。また一層のインフラ整備促進や外国企業が参入しやすいビジネス環境の整備などを急ピッチで進めているほか、地方振興を視野に入れた観光地の開発など、さらなる経済成長の原動力となるプロジェクトを、国家をあげて推進しています。

今後も力強い経済成長が期待されるインドネシアには世界中の投資家から注目が集まっています。インドネシア国債は、投資適格級にありながら相対的に高い利回りを持つ魅力的な投資対象です。当社は、2012 年 2 月末より「イーストスプリング・インドネシア債券オープン（毎月決算型）」を運用し多くの投資家のお客さまにご愛顧いただいています。長期を見据えた個人の資産運用の重要性、それに伴う真の意味での投資家目線に立った投資信託の商品性のあり方が大きく問われている今、従来の毎月決算型に加えて、より高い複利効果の享受を可能とする選択肢をご提供することを目的に、このほど年 2 回決算を行う当ファンドの設定に至りました。

【インドネシア債券の三つの魅力】

① 投資適格級の信用力を持つ国債

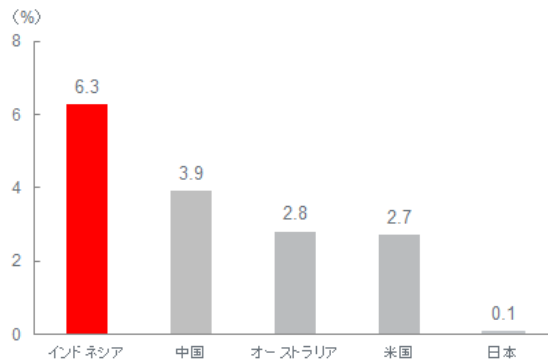
インドネシア国債は、同国の堅調な経済ファンダメンタルズを背景に 2017 年には 5 月に S&P がインドネシア政府の自国通貨建ておよび外貨建ての長期債格付けを「BB +」から「BBB –」⁴へ、同年 12 月にはフィッチ・レーティングスがインドネシア国債の格付けを「BBB –」から「BBB」へ引き上げました⁵。2018 年 1 月末現在、大手格付機関（S&P、Moody's、Fitch）による格付けは全て投資適格級となっています⁶。

※ 当ファンドの投資対象ファンドは、インドネシア国債だけでなく社債等にも投資を行っています。国債とその他の債券の格付けや利回り等は異なる場合があります。

② 相対的に高い水準にある利回り

インドネシアの10年債利回りは2018年1月末現在で6.3%と主要先進国と比較して相対的に高い水準にあります⁷。2015年半ば以降、米国の金融政策や中国の景気悪化など外部要因の影響から利回りは上昇、債券価格は下落しましたが、現状では落ち着きを取り戻し堅調に推移しています。またインフレ率も低位で安定していることも相まって、外国人投資家や、保険会社や年金基金などの国内の機関投資家による旺盛な需要を背景に債券市場には資金流入が続いています。

<各国の10年国債の利回り（2018年1月末現在）>



※Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。全て自国通貨建て国債の最終利回り。

③ 安定して推移する通貨インドネシアルピア

為替の面でも、インドネシアルピアは経常収支の改善や、増加傾向にある外貨準備高等を背景に、2016年以降対米ドルで安定して推移しています⁸。

当ファンドの設定にあたり、弊社代表取締役社長兼CEOである関崎 司は、次のように述べています。「インドネシアは、インドに続くアジアの新たな成長エンジンとして、現在、多くの投資家の注目を集める市場です。弊社では2012年2月以来、「インドネシア債券オープン（毎月決算型）」を通じて、多くの投資家の皆様にインドネシア債券市場への投資機会をご提供して参りました。日本の個人投資家の皆様の資産運用を取り巻く環境が大きく変化しつつある中、この度、同債券市場自体の魅力に加えて、より高い複利効果の享受を目指す選択肢を新たにご提供することにより、インドネシア債券市場を投資対象とする弊社のファンドを、より多くの投資家の皆様の資産運用にご活用いただくことを願っております。」

弊社ではグループのグローバルネットワークを最大限に活用して、引き続き日本の投資家の皆様の中長期的な資産形成に貢献できるよう、邁進してまいります。

出所：

1-3. IMF（国際通貨基金）世界経済見通しデータベース（2017年10月）。GDP成長率は2018年から2022年についてのIMF予想に基づく。

4-8. Bloomberg L.P.

以上

【イーストスプリング・インベストメンツについて】

イーストスプリング・インベストメンツは、世界有数の金融サービスグループを展開する最終親会社のアジアにおける資産運用事業部門です。イーストスプリング・インベストメンツは2017年6月末時点で約1,310億ポンド（約19兆円、1ポンド=145.79円）の運用資産を有するアジア最大級の資産運用会社であり、最終親会社は165年以上の歴史有し、英国、米国、アジアなど世界各国で金融サービス業務を提供しています。

イーストスプリング・インベストメンツは日本をはじめシンガポール、香港、韓国、インドネシア、マレーシア、台湾、ベトナム、ルクセンブルグ、米国、英国で資産運用事業を展開し、さらに中国、インド、香港では合併事業を行っています。現在では13のマーケットで資産運用事業を展開しています。

【イーストスプリング・インベストメンツ株式会社 会社概要】

- ◆ 設立： 1999年12月
- ◆ 資本金： 6億4,950万円
- ◆ 住所： 東京都千代田区丸の内2-6-1 丸の内パークビルディング
- ◆ 登録番号： 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号
- ◆ 加入協会： 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
- ◆ ホームページ： <http://www.eastspring.co.jp/>
- ◆ 運用資産残高： 約1兆506億円（2017年9月末時点）

【本プレスリリースに関して】

- ※当資料は、報道関係の皆様に向けて作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※当資料は、投資勧誘を目的とするものではありません。